

中部地方の環境の現状

1 温室効果ガスの排出状況

温室効果ガスのうち、県別の二酸化炭素(CO₂)の排出量を下記の表にまとめました。

人口規模が大きく製造業などの産業が盛んな愛知県が最も多く、年間85,747千tとなっています。次いで三重県が27,557千t、長野県が16,944千tと続いています。

京都議定書の基準年である平成2年(1990年)と排出量を比べると、岐阜県がほぼ同程度ですが、他の県は増加しており、長野県で29.1%増、石川県で27.5%増と全国平均(平成17年度13.1%増、平成18年度11.3%増)よりも増加しています。部門別内訳を見てみると、三重県、愛知県では、産業部門からの排出が全体の5割以上を占め、業務部門と家庭部門が全ての県で増加率が高い現状です。オフィスや家庭での温暖化対策に積極的に取り組む必要がこの表からも窺えます。

表 中部地方の各県における二酸化炭素(CO₂)排出量 単位：千t-CO₂、%

	富山県	石川県	福井県	長野県	岐阜県	愛知県	三重県
	H18年度 (2006)	H17年度 (2005)	H18年度 (2006)	H18年度 (2006)	H18年度 (2006)	H18年度 (2006)	H18年度 (2006)
産業部門	6,144	2,701	3,753	4,796	5,386	44,594	15,531
1990年比	97.0%	91.9%	90.8%	114.2%	84.9%	104.4%	103.2%
部門比	45.7%	25.5%	43.2%	28.3%	34.6%	52.0%	56.4%
運輸部門	2,259	2,714	1,767	4,568	3,925	12,260	4,486
1990年比	108.9%	130.7%	118.8%	118.0%	89.5%	112.3%	108.0%
部門比	16.8%	25.6%	20.3%	27.0%	25.2%	14.3%	16.3%
業務部門	2,012	2,090	1,127	4,250	988	12,502	2,797
1990年比	135.7%	178.5%	154.8%	164.9%	110.6%	144.8%	165.9%
部門比	15.0%	19.7%	13.0%	25.1%	6.3%	14.6%	10.1%
家庭部門	2,140	1,588	1,155	3,150	3,464	9,872	2,340
1990年比	136.8%	129.2%	127.9%	136.0%	147.3%	135.0%	126.8%
部門比	15.9%	15.0%	13.3%	18.6%	22.3%	11.5%	8.5%
その他	885	1,505	883	180	1,803	6,519	2,404
1990年比	77.2%	167.6%	86.4%	112.5%	113.9%	139.1%	111.7%
部門比	6.6%	14.2%	10.2%	1.1%	11.6%	7.6%	8.7%
合計	13,440	10,598	8,685	16,944	15,566	85,747	27,557
1990年比	106.6%	127.5%	105.0%	129.1%	100.1%	115.5%	110.7%

各県の環境白書及び排出量公表値より作成、県ごとに推計方法が異なる。合計は四捨五入により一致しない場合がある。

「その他」内訳

富山県：エネルギー転換部門、廃棄物部門、フロン類部門、水道供給部門、農業部門(メタン、二酸化炭素)、笑気ガス

石川県：エネルギー転換部門、廃棄物部門

福井県：エネルギー転換部門、廃棄物部門、工業プロセス部門

長野県：エネルギー転換部門、廃棄物部門

岐阜県：廃棄物部門、工業プロセス部門

愛知県：エネルギー転換部門、非エネ起源CO₂、CH₄、N₂O

三重県：エネルギー転換部門、廃棄物部門、工業プロセス部門